



玉川学園同窓生
吹奏楽ミーティング



ドリームバンド ミーティング 演奏会

vol.19

2024年 8月 31日(土) 13:30 開場
14:00 開演

町田市民ホール

主催 ドリームバンド

ごあいさつ

本日は第19回ドリームバンドミーティング演奏会にお越し頂きありがとうございます。ドリームバンドは、2003年に開催された「玉川大学コスモス祭」で玉川学園卒業生によるステージとして初めて同学園内の講堂に於いて演奏したことをきっかけに、年に一度だけ開催している玉川学園同窓生による吹奏楽ミーティングです。玉川で吹奏楽に親しんだ卒業生たちが、昔の仲間と「また合奏したい!」という思いをつなぎ、今年で19回目の演奏会となりました。結成から21年、毎年春にメンバーを募り個人練習をして本番を迎えます。合奏練習はそれぞれ仕事や家庭の都合もあり本番直前の数回となりますので、お聴き苦しいところもあるかと思いますが、本日も心を込めて玉川サウンドを響かせます。どうぞ最後までお楽しみください。

玉川ドリームバンドメンバー 2024 一同

1st Stage

program

キャンディード序曲

OVERTURE TO "CANDIDE"

1956年 Leonard Bernstein
(L・バーンスタイン 1918-1990)

レナード・バーンスタインによるミュージカルまたはオペレッタの序曲です。「キャンディード」はフランスの啓蒙思想家ヴォルテールの著書である「カンディード、あるいは楽天主義説」を舞台化したもの。このキャンディード序曲は2008年4月から2015年9月まで「題名のない音楽会」のオープニング曲になっていた事でも有名です。金管楽器の華やかなファンファーレやティンパニーの力強い音で始まるまさにオープニングに相応しい活気あふれる曲です。私も高校生の時以来の演奏で楽しみにしてます。(AI)

ロマネスク

Romanesque

1982年 James Swearingen
(J・スウェアリンジェン)

スウェアリンジェンは、1980年代~1990年代にかけて吹奏楽コンクールの自由曲として数々の定期演奏会などでも演奏されてきた人気の作曲家で、吹奏楽に関わりのある人にはよく知られた存在だと思います。「ロマネスク」は、中間部の美しいメロディは親しみやすい曲調で、彼の作風に多い三部形式をとっていない曲で、格調の高い賛美歌風のコーラルで幕を開け、冒頭で示された旋律が他の楽器に受け継がれていくのが特徴的な非常に美しい曲だと思います。他にも「センチュリア」「コヴィントン広場」「イーグル・クレスト」「歓喜の序曲」「狂詩曲／ノヴェナ」「インヴィクタ序曲」「チェスタフォード・ポートレイト」「マジェスティア」「アヴェンチューラ」「誇りと祝典」「シーゲート序曲」等たくさん名曲を残しています。ドリームバンドでも今後大切にしていきたい名曲の一つです。

吹奏楽のための第二組曲

SECOND SUITE IN F for Military Band

1911年 Gustav Holst
(G・ホルスト 1874-1934)

「吹奏楽のための第二組曲」は吹奏楽の原点ともされる曲であり、作曲家は「惑星」で有名なグスターヴ・ホルストです(ちなみに「惑星」は当時占星術にハマっていたから創作したという一説があるとかないとか)。本曲はイギリスの軍楽隊のためにイギリス民謡の旋律をベースに第一組曲と共に作曲されました。この第二組曲は6つのイギリス民謡とイギリス舞曲、イングランド民謡が用いられているとされています。この曲は民謡のように多くのバンドに愛され、引き継がれながら演奏されてきました。玉川大学吹奏楽団でもそれは例外でなく、私が在学した4年間でも、ほぼ毎年演奏していたと記憶しています。入学当初は初心者だったこともあり満足に演奏することはできませんでしたが、学年が上がるにつれて曲に感じる印象はどんどん変化しました。今回の演奏でもまた違った印象を抱くかもしれません。同じ曲なのに時によって印象が変わることは、音楽の醍醐味なのかもしれませんね。今回の演奏で、聴いていただける皆様もそれぞれの印象を抱いていただけたら、幸いに思います。(YW)

舞踏会の美女

Belle of the Ball

1951年 Leroy Anderson
(L・アンダーソン 1908-1975)

舞踏会で踊る最高の美女を表現したルロイ・アンダーソンの名曲です。ルロイ・アンダーソンと言えばクリスマス・ソングの定番「そり滑り/Sleigh Ride 1948年」があるため、12月になると彼のメドレーなどがよく街中やラジオで流れてきます。曲名は知らなくとも彼の曲は誰もがどこかで聴いているよく知られたメロディが沢山あります。他にも「トランペット吹きの子守唄 1949年」「タイプライター 1950年」「ワルツィング・キャット 1950年」「プリंक・プランク・ブルンク 1951年」「ブルー・タンゴ 1951年」「トランペット吹きの日 1954年」など、実に豊富です。ドリームバンドでもこの曲はとても馴染みがあり、2004年の第2回演奏会ではアンコールとして演奏し、その10年後の2014年第11回演奏会で演奏、更に今年2024年にも演奏することとしました。ちょうど10年おきに演奏してきた思い出の曲です。舞踏会の高揚した気分を感じる軽快なワルツテンポでシャンデリアの輝きが目に浮かぶような明るい曲です。(TM)

2nd Stage

シンコペイテッド・クロック

The Syncopated Clock

1946年 Leroy Anderson
(L・アンダーソン 1908-1975)

「舞踏会の美女」の約5年前に作曲されたルロイ・アンダーソンの名曲です。アメリカのCBSテレビの「The Late Show(レイト・ショー)」のテーマソングとして広く親しまれたそうです。「シンコペイテッド・クロック」という曲の意味は、「一定の時を刻まない時計」という意味で、シンコペーションを多数用いる事でコミカルな感じを出しています。曲中では、打楽器のウッドブロックがコツコツと時を刻みますが、4小節目にシンコペーションが入り、独特のコミカルさとユーモアを生み出していて大変楽しい曲です。ドリームバンドでは2014年に「舞踏会の美女」と共に演奏しました。(TN)

想い出のサンフランシスコ

I left my heart in San Francisco

1954年 作詞 Douglass A. Cross (ダグラス・クロス)、
作曲 George Cory (G・コリー)

この美しい曲はリリースされた当初、それほど有名にはなりませんでしたが、クララメイ・ターナーのために書かれた曲ですが彼女はレコード化せず、1962年まだ無名だったトニー・ベネットが歌いヒット。1969年サンフランシスコ市歌に制定されました。日本では「霧のサンフランシスコ」のタイトルでも知られています。(TK)

吹奏楽のための第二組曲 「ラテン・メキシコ風」

SECOND SUITE for BAND
(LATINO-MEXICANA)

1979年 Alfred Reed
(A・リード 1921-2005)

アメリカを代表する吹奏楽作曲家、アルフレッド・リードのこの代表作はキューバやメキシコ、ブラジル、アルゼンチンといった、個性豊かなラテン音楽の要素を詰め込んだ、彩り豊かな楽曲です。4つの楽章にはそれぞれ違ったモチーフが表現されています。

I ソン・モントゥーノ

キューバ音楽の基本「ソン」は、スペイン舞曲を起源とし、スペインとアフリカの音楽の融合が見られます。「モントゥーノ」はリードヴォーカルとコーラスの掛け合いが繰り返される形式の部分で、ソン・モントゥーノを一言でいえば「歌って踊れる歌謡曲」です。独特のリズムをクラビス(拍子木)が支えます。生き生きとしたキューバの大衆音楽の雰囲気を感じてください。

II タンゴ (サルガッソー セレナーデ)

「タンゴ」と聞いて先に思い出すのは、情熱的な激しい動きのアルゼンチンタンゴですが、ここではブラジル風の少しゆったりとした滑らかなステップをイメージしてください。サルガッソーは、北大西洋の4つの海流で囲まれた海域で、世界一透明度が高く波は穏やかで、風も風の状態が多いという場所です。穏やかな海辺で、夕暮れ時に愛しい人を想う…。穏やかな中に少しの切なさ、キラキラする海面を美しい木管楽器の旋律とベルツリーで表します。

III グアラチャ

「グアラチャ」とはスペインに起源する、キューバなどの中南米の歌と舞踏の音楽のことで、この楽章の場面は陽気な人々が歌い、踊り、笑い合うアルゼンチンの酒場。大らかな金管楽器のフレーズ、飄々とした木管楽器の旋律やマリンバのリズム。街の賑やかな酒場というよりは、どこかのんびり、ほのぼのとした場所かもしれません。

IV パソ・ドブレ(ア・ラ・コリーダ)

「パソ・ドブレ」とは闘牛場で奏でられるマーチ。フラメンコを基調とする舞踏でもあります。最終楽章での舞台はメキシコの闘牛場。情熱的なファンファーレが闘牛士の登場を伝え、牛と闘牛士の息詰まる応酬が始まります。次第に観客の声援や喝采も重なり合い、3拍子+2拍子のリズムによって盛り上がっていきます。中間部ではフラメンコの曲想も混じり、明るく、時には哀感漂う色合いも表現されます。後半、さらに祭りは盛り上がり、皆様のをびやかで煌びやかなフィナーレにお連れします。

本物の楽器で練習する機会が限られる打楽器チームにとっては、とても大変な曲ですが、失速せず、最後まで走走できるように見守ってください。



指揮者紹介

田中 旭



1967年、国立音楽大学器楽科クラリネット専攻卒業、翌1968年 同専攻科修了。

教諭として東京都品川区立荏原第二中学校に着任し、1971年に吹奏楽部を創部するとともに、1972年から1977年まで東京都吹奏楽連盟理事を務める。

1977年 玉川学園女子短期大学に着任し、玉川大学吹奏楽団常任指揮者に就任。以来、34年間にわたり同吹奏楽団を指導し、2005年に吹奏楽コンクール全国大会金賞に導き自らも指揮者賞を受賞。1999年、イーストマン音楽大学、コロラド大学、デンバー大学のクリニックに参加、2009年にはシカゴで開催された「ザ・ミッドウェスト・クリニック」に参加、研鑽を積む。クラリネットを大橋幸夫、小笠原長孝、室内楽を伊達良、音楽教育学法を岡本敏明、高森義文。指揮法を村方千之の各氏に師事。吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト審査員に多数招聘された他、吹奏楽や合唱の指導者として多方面で活躍しており、その指導には定評がある。

元玉川大学教育学部教授。元独立行政法人教員研修センター監事。現在、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部長、同協会神奈川県部会長、日本管打・吹奏楽学会々員、日本クラリネット協会々員、川崎吹奏楽団常任指揮者、玉川大学吹奏楽団名誉指揮者。

三浦 博司



玉川学園中学部、高等部時代、吹奏楽部に所属(トロンボーン)。大学時代は、同好会として十数名で吹奏楽の活動をする傍ら、管弦楽団のヴェートーベン「交響曲第九番」、ドヴォルザーク「新世界」の演奏会に参加。また、中学部、高等部吹奏楽部の指導にあたる。玉川大学文学部教育学科卒業後、大和市立小学校に着任(2009年退職)。

在任中、合唱教育研究会神奈川大会、関東音楽教育研究会、少年少女合唱指導者研修全国大会に参加し、研鑽を積む。これまでに市教育研究会音楽部部長、神奈川県教育研究会理事(音楽部)、教科指導員(音楽)、音楽実技研修(講師)、中学校吹奏楽部の指導などを歴任。小学校退職後は、市内小学校の合唱、合奏、リズム、リコーダー等の指導を通して後進の育成も行っている。

長谷部 啓



1982年 玉川大学文学部芸術学科音楽専攻音楽教育卒業。1982年より98年まで玉川学園中学部、99年より玉川学園高等部で音楽科教諭として音楽教育の実践と研鑽を行う。その間、同吹奏楽部の顧問・指揮者として全日本吹奏楽コンクール中学の部に5回、高校の部に1回出場する。また、全日本高等学校吹奏楽大会in横浜に9回、東日本学校吹奏楽大会に5回出場。1998年東京交響楽団とのジョイントコンサートを企画し、同コンサートにて児童福祉文化賞舞台芸術部門の推薦作品に選ばれ、厚生大臣賞を受賞。2005年オランダ・ケルクラードで4年に一度開催される第15回世界音楽コンテスト吹奏楽部門で金賞(第1位)を受賞。2013年ウィーン国際青少年音楽祭に於いて「Summa Cum Laude」(第1位)を受賞する。

元玉川学園高等部部長・教育部長(6-12年)。元玉川大学・玉川学園国際教育センター副センター長。元全国私立大学附属併設中学校高等学校教育研究会幹事。現在、玉川学園IB音楽科講師、玉川大学脳科学研究所特別研究員、玉川大学吹奏楽団顧問、東京都高等学校吹奏楽連盟常任理事。

メンバー

◆ Flute & Piccolo

足立 麻里
今城 晃子
神田 晴子
島津 美佳
立花 由紀子
友田 晶子*
野口 正章
松本 篤子
吉澤 和弘

◆ Oboe

赤平 美佳子
佐々木 恭子
佐野 陽子
鈴木 尚子*

◆ Clarinet

荒井 優子
伊藤 幹子*
遠藤 陽子
大山 瑞希

鯉淵 朋美

酒井 朝子
櫻井 美代子
佐々木 淳
島 健太郎
清水 健一郎
田中 美佳
前田 絵理
三浦 実穂
門田 喜実代

◆ Fagotto

金子 慎太郎
神本 浩子*
渡邊 優

◆ Saxophone

鈴木 紳一郎
竹内 正則*
対馬 尚子
松下 裕昭

◆ Trumpet

北村 謙見
田中 聖
出浦 香織
細川 宏幸
味噌野 輝章*
山崎 岳彦

◆ Horn

宇佐 日出人
古立 康三
小林 幸子
近藤 宣
竹中 文子*
中村 剛
原田 章二
福澤 達
町田 玲奈
三好 徹史
森澤 裕

◆ Trombone

尾崎 伸二
小宮 隆一*
武田 久里
館野 綾
外川 裕彦
三浦 博司
渡邊 圭輔

◆ Euphonium

東 道隆*
石井 実希
茶谷 智太郎

◆ Tuba

小澤 正憲
坂田 勇
阪本 一雄
長友 裕之
藤田 良明

◆ Percussion

大崎 千智*
小林 典子
庄子 真美
間瀬 陽子
森田 優子
八木 実香

◇ StageManager

蟻川 和美

◇ MC

近藤 千尋

◇ Staff

坂巻 早苗
関根 國哲
竹内 浩美
友田 昭博
波田野 和美